

令和4年度

社会福祉法人 南星福祉会・やまがわ保育園 事業報告書

法人の事業報告

【理事会】（総員数：理事6名、監事2名）

第1回（令和4年6月5日 14時） 出席者：理事6名、監事2名、事務局2名

議事及び議決事項

（令和4年度監事監査報告）

- ・第1号議案 令和3年度事業報告について
- ・第2号議案 令和3年度計算書類（決算書類及び財産目録）について
- ・第3号議案 社会福祉法人 南星福祉会 定款の変更について
- ・第4号議案 社会福祉法人 南星福祉会 定款施行細則の変更について
- ・第5号議案 運営規程の変更について
- ・第6号議案 令和4年度 定時評議員会の招集について
- ・第7号議案 経理規程の変更について

報告事項

- ・理事長職務執行の状況報告

第2回（令和4年9月24日 17時） 出席者：理事5名、監事2名、事務局2名

議事及び議決事項

- ・第1号議案 令和4年度資金収支予算（第1次補正予算）について

報告事項

- ・理事長職務執行の状況報告

第3回（令和4年12月24日 16時） 出席者：理事5名、監事2名、事務局2名

議事及び議決事項なし

報告事項

- ① 理事長職務執行の状況報告
- ② 園の近況報告

第4回（令和5年3月25日 14時） 出席者：理事6名、監事2名、事務局2名

議事及び議決事項

- ・第1号議案 令和4年度資金収支予算（補正予算第2号）について
- ・第2号議案 就業規則の変更について
- ・第3号議案 給与規程の変更について
- ・第4号議案 非常勤職員等就業規則の変更について
- ・第5号議案 運営規程の変更について
- ・第6号議案 育児・介護休業規程の変更について
- ・第7号議案 令和5年度事業計画について
- ・第8号議案 令和5年度資金収支予算について
- ・第9号議案 主任保育士の選任について

報告事項

- ・理事長職務執行状況報告

【監事監査】

監事監査（令和4年5月22日 14時）

監事2名、理事長、園長、副園長、事務長、
オブザーバー仲里好功氏（東盛税理士事務所）

【評議員会】（総員数：評議員7名）

定時評議員会（令和4年6月20日 15時）

出席者：評議員7名、監事1名、理事長、園長、副園長、事務長
議事及び議決事項

- ・第1号議案 令和3年度事業報告及び決算書類・財産目録の承認について
（監事監査報告）
- ・第2号議案 社会福祉法人 南星福社会 定款の変更について

報告事項

- ① 令和4年度事業計画及び資金収支予算書の報告について
- ② 園舎増築工事完了報告

やまがわ保育園事業報告

【総括】

平成29（2017）年開園したやまがわ保育園は、令和4（2022）年10月1日をもって設立5周年の節目を迎える事が出来ました。

兼ねてより計画していた増築は令和4（2022）年3月に完成し、4月1日から新入園児48名増やし107名で保育を始めました。園児増員に伴い、若手ではありますが実践力のある保育士を3名採用（正職員）し、産休代替えの職員も3名採用できたことなど、人的環境や施設整備が整い、ゆったりとした穏やかな質の良い保育ができる環境になりました。

ところが、世界中が新型コロナウイルス感染症の禍の中において、日々のニュースは罹患数や死亡者数の増減を伝える話や、恐怖に陥る心地よくないニュースだけが流れていたような気がします。

このような長引くコロナ禍における園長の業務は感染拡大の予防と、子どもたちを含む施設関係者（職員や保護者）に対する感染状況の確認が最重要責務となりました。感染者あるいは濃厚接触者の疑いがあった場合など、日々、子どもたちの健康状態を確認しつつ、保護者や職員にもヒアリングを行い、感染状況を役場や保健所へ詳細に報告しました。町内の保育園では役場の指示のもと休園措置となります。役場から家庭保育の協力依頼や休園措置の要請があった場合、保護者へ連絡するなど、常に三者間で連絡を密に取りあいました。時には、園長独自の判断を余儀なくされ休園（クラス閉鎖）する事も多々あり、ほんとうに緊張する日が続きました。

職員に関しては、コロナ感染を怖がる声もありましたが、保育園や家庭でも衛生管理を徹底し、自己管理と家族の健康管理に取り組んでいました。毎日の保育や行事に対しては、コロナ禍でも創意工夫しながら、職務を遂行していました。特に園の一大行事であるうんどう会では、コロナ感染拡大の油断が許されない状況下で、保護者の希望もあり、2日間に渡って実施しました。子どもたちにとって今できることは何かを常に考え、親子一緒に演舞し、とても楽しめたことは大きな成果だと思います。ちなみに、うんどう会の賞品は「やまがわ保育園5周年記念」のタオルと、手作りアンパンマンメダルを贈り、大変好評で喜ばれました。



一方、令和4（2022）年度の特筆すべき大きな出来事は、0歳児を最終的に15名迎え入れたことです。4月時点では9名でスタートしましたが、年度中に入園希望者が増えたことで

15名になりました。そのため、保育士を5名配置しただけには留まらず、追加で保育士1名、子育て支援員1名、補助職員1名を加配して、計8名の職員体制をしました。(国の保育基準では3名の園児に対して、保育士1名の配置)。ほかのクラスにおいても園児増員があり、最終的には園児112名・職員34名の大所帯となりました。

初めて親元を離れて、預けられる幼い子たちは、園にいる間はずっと大きな声で泣き叫び、常におんぶに抱っこ有様です。職員はマスク着用必須・消毒・三蜜回避を基本として、手厚く寄り添う保育を行いました。また、昨今、子どもたちの個性が尊重され、多様な育ち方が叫ばれる中、世間を驚かす保育士虐待のニュースがありました。本園では、毎週の職員会議、毎月の実践的園内研修、および日々の自己研鑽を通して、0歳児には、安心・安全の愛着関係形成の保育、1歳～4歳児には、個々の発達に見合った育て方、保育の工夫、気になる子ども・支援児の保育など、各研修を活かした実践・報告がありました(別紙参照)。

112名の園児情報を管理ができたのが、ICTシステム導入によるものです(業者切替えによる新規導入)。当初計画していたとおり、登降園の非接触型「打刻」機能、おたより帳配信、写真による園様子配信、広報、緊急連絡配信等、新機能を活用して進めてきました(従来は職員によって、園児記録を行っていた。さらに、紙媒体のおたより帳を日々介すことで、衛生面での懸念もあった)。特に、利用者が導入当初から十分に活用するまでは時間を要したものの、ICTによる連絡・配信機能を活用することで、職員間の連携、事務報告、外部やりとりを非対面でも意思疎通ができ、結果的に集団的な蜜を避けることになったと思います。

まとめになりますが、コロナ禍の逆境においても、職員一丸となり、衛生管理の重視と手厚い保育、そしてICT機能を活用することで、休園日数・クラス閉鎖日数が町内他園に比べて少なく、休園期間も短期間となり、幸いにも2回で済む事ができました。これはひとえに、保護者や職員が一緒になって、一生懸命、コロナ禍を走り切ったからだと思います。

1、利用状況

年齢	職員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	5	11	12	12	12	12	12	12	12	15	15	15	15	155
1歳児	4	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
2歳児	4	24	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	287
3歳児	3	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	39	368
4歳児	2	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	224
合計	18	107	108	109	109	109	109	109	109	111	111	111	120	1,322

2、職員体制

職名	人数
園長	1
副園長	1
事務長	1
主任保育士	1
保育士	16
看護師兼保育士	1
保育士(パート)	2
支援員	3
調理員	4
事務兼用務員	1
養護教員	1
保育補助	2
産休・育休	5
合計	39

3、保育を提供する日等

開園日	月曜日～土曜日
開園時間	午前7時～午後6時まで
延長保育	月曜日～金曜日 午後6時～午後7時
休園日	日曜日、祝祭日、慰霊の日、 12月29日～1月3日
その他	<p>・毎月月曜日はプール教室（外部委託、月3回、個人契約。職員はバス送迎の付き添い、着替えの手伝い。）</p> <p>・毎月第1火曜日は避難訓練</p> <p>・毎月第2木曜日はリトミック（外部講師）</p> <p>・毎月水曜日は英語遊び（外部講師：月3回）</p> <p>・毎月第3木曜日は弁当会</p> <p>・毎月第2・4金曜日は体育教室（外部講師）</p> <p>・毎月第4金曜日はお誕生日会</p> <p>・毎月第4土曜日は園内研修</p> <p>・毎月土曜日は家庭保育協力依頼（職員の週休取得）</p> <p>※特に第4土曜日の午後は、職員園内研修のため家庭保育協力を強くお願いしました。</p>

4、保育を提供する時間

	保育時間		延長保育	
保育標準時間認定	7～18時	(11時間)	18～19時	(1時間)
保育短時間認定	A：8～16時	(8時間)	朝：7～8時	(1時間)
			夕：16～19時	(3時間)
	B：9～17時	(8時間)	朝：7～9時	(2時間)
夕：17～19時			(2時間)	

延長保育実績報告(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	22	22	27	50	31	47	21	34	26	24	46	22	372
延長日数	20	19	21	21	22	20	18	20	20	19	19	22	241

5、年間保育指導

【0歳児】

- ・保育者との愛着関係の形成過程を大切に受止め、それぞれの思いに添った援助を行う。
- ・一人ひとりに応じた授乳を進め、健やかな発育、発達の基礎作りをする。
- ・受容的で身近な大人との関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育てる。

- ・ 個別の対応を心掛けスキンシップを十分にとりながら、心身ともに快適な環境を作り情緒の安定を図る。

【1歳児】

- ・ 自我の芽生え、自己主張を認めそれぞれの思いに添った援助をする。
- ・ 手掴み食べを見守り自分で食べようとする気持ちを育み食べる楽しさを共有する。

【2歳児】

- ・ 食事、衣服、着脱、排泄等簡単な身の周りの活動を自分でしようとする芽生えを受けとめる
- ・ 日々の生活の中で探索意欲を高め、興味、関心を広げる。
- ・ 表現の芽生えを大切に受け止め、仲間と共に遊ぶ喜びを共感する。

【3歳児】

- ・ 基本的な生活習慣を意欲的に行うようにする。
- ・ 仲間と共に育ち会う関係を保育者、保護者が共に援助をする。
- ・ 遊びの保証を心掛け、感動する経験を広げ「ヤッター」という達成感を共感する。

【4歳児】

- ・ 健康・安全など生活に必要な基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 安全な環境の中で快適に過ごし、多様な経験を通して徐々に自己肯定を育む。
- ・ 身近な自然や社会に触れる中で共有・共感し合い、生活に必要な言葉や習慣を身に付ける
- ・ 約束や決まりがわかり、少しずつ自分の気持ちをコントロールできるようになる。

6、実績報告

- | | |
|--------|--|
| 4月23日 | ・ 園2階増築箇所における手洗い場、床下の水漏れ対応。 |
| 5月7日 | ・ 園 駐車場アスファルト工事改修の完了。 |
| 5月25日 | ・ 2階舞台横倉庫新築工事の完了。 |
| 6月 | ・ 園にて、コロナ対策チームの立ち上げ。
看護師、園長、主任、事務長とチームを組み、保健所、役場、
罹患者と連絡、調整などする。 |
| 6月2日 | ・ 園駐車場内の排水溝の蓋止め工事の対応。
(大雨によって、排水溝の蓋が外れた) |
| 6月15日 | ・ 消防点検 |
| 6月22日 | ・ 2階舞台横倉庫のペイント工事等を行う。(湿気対策) |
| 6月25日 | ・ 2階舞台横倉庫増築工事に伴う電気、換気、煙・温熱感知器の工事。 |
| 7月5日 | ・ ささのは準備(副園長) |
| 7月7日 | ・ コロナ感染予防としてクラス別七夕まつり。
南風原町のキャラクター「はえるん」が来園し、子ども達と触れ合う。
→8月付の町広報誌(「はえばる町議会だより」)の表紙を飾る。 |
| 7月11日～ | ・ 保護者との個人面談。
・ スカイパーク(屋上)にて水遊びがはじまる。 |

- 7月19日
 - ・リーダー職員を対象に ICT 研修。
 - リーダー職員は研修後、全職員に展開。
- 7月20日
 - ・園庭にて、おおごまだらの蛹から蝶々2羽誕生。
 - 3歳児、4歳児のクラスで飼育。
- 7月27日
 - ・園舎屋上の扉2か所について、工事完了。
- 7月28日
 - ・K-工芸（神里 武氏）より、水槽及びグッピーをもらう。
 - 園玄関にて、グッピーを飼育する（子どもたちに大好評）。
 - ・神里良紀さん（東京在住）より、保育園開園5周年記念として、バラの花の油絵を寄贈。
- 8月5日
 - ・園庭へ豆砂利及び砂場の砂を補充する。
- 8月31日
 - ・台風11号発生 12時までに園児全員帰宅する。
- 9月14日
 - ・ゴーヤ収穫体験。4歳児：1人2個ずつお土産にもって帰る。
- 9月21日
 - ・ゴーヤ収穫体験。3歳児
- 9月16日
 - ・UIビルメンテナンス社による害虫駆除。
 - ・職員によるエアコン掃除。
 - ・町役場より次年度申請のため現行届の調査が始まる
- 9月25日
 - ・厨房のエアコン故障（修理する）。
- 9月28日
 - ・消防署員より総合訓練。
- 10月6日～9日
 - ・スカイパーク日除け修繕工事。
- 10月6日
 - ・UIビルメンテナンス社による貯水槽の清掃。
- 10月21日
 - ・つき組、はな組：室内でのうんどうかい。（雨天の為、室内で実施）
 - 保護者案内（前年度はコロナ感染を配慮し、案内せず）
- 10月22日
 - ・ほし組、にじ組、たいよう組：室内でのうんどうかい
 - エイサー演舞・リレー競技（たいよう組）は、11時頃から晴れたのでスカイパークで行う。
 - 開園5周年記念品として印刷タオルとアンパンマンメダル、軽食を持たす。
- 11月2日
 - ・令和4年度特定給食施設栄養定期報告結果
 - 給食栄養量は目標量を満たしている。
 - 又、家庭で不足がちなカルシウムも充足できている。
 - （南部保健所より）
 - ・園舎周辺の雨水対策、工事完了する。
- 11月14日
 - ・保護者保育参加（ほし組、にじ組）
- 11月15日
 - ・保護者保育参加（つき組）
- 11月17日
 - ・保護者保育参加（はな組）
- 11月17日
 - ・じゃが芋の植え付け体験（たいよう組）
- 11月18日
 - ・保護者保育参加（たいよう組）

- 11月23日 ・県による指導監査、延期になる。(監査人がコロナに罹患)
- 12月15日 ・リフト点検。
- 12月24日 ・おゆうぎ会。
→ 軽食とスターフルーツをお土産として持ち帰る。
- 1月12日 ・ムーチ作り。
- 2月7日 ・社会福祉教育活動の一環として、山川地区内のちびっこクリーン作戦を行う。(たいよう組)
- 3月1日 ・じゃが芋収穫体験。調理して食し、お土産としてもって帰る。
- 3月16日 ・県指導監査、今年度中止の連絡あり。
- 3月18日 ・卒園式(18名)。
→ 卒園児にお花、絵本、保育証書、在園児からのプレゼント、軽食を贈る。
- 3月24日 ・修了式。全園児に年齢に応じた絵本をプレゼントする。
- 3月27日 ・福祉教育活動として、お世話になった方へ収穫したじゃが芋を配布する。
→ 長元氏、大城氏、神里氏、翁長氏へ。
・電気設備安全点検。

7、施設設備等

- ・2階舞台横の外ベランダを室内倉庫へ改築。
- ・スカイパーク(屋上)出入口2か所を門扉設置。
- ・園舎周辺の雨水対策工事(厨房の排気口に雨水侵入の可能性あり)
- ・0歳児調乳室・隠れ部屋を柵等設置。
- ・1～2歳児教室内において、押入れに柵設置、布団置き場柵を設置、おもちゃ箱柵設置。
- ・スカイパーク日除けの修繕工事。
- ・園庭内に砂・豆砂利の補給。

8、給食に対する取り組み

【目標】

- ① 食と健康：空腹を感じ、リズムある生活を送る。
- ② 食と文化：沖縄の行事食に興味をもつ。
- ③ 食と料理：身近な食材を使って調理を楽しむ。
- ④ 命の育ちと食：自然の恵みと働くことの大切さを知り、感謝の気持ちを持って食事を味わう。
- ⑤ 食と人間関係：身近な人と食事を楽しむ。

アレルギー対象児3人

3歳児（ごま）、3才児（卵）、2歳児（卵）のアレルギー所持者を保育する。
医師による診断書や指導などを参考に、園長・職員・調理員で会議を行い、共通理解を深める。除去食、代替食にて対応し、食器、ネームプレート、テーブルなど専用を準備し、注意深く食事を提供する。

給食会議

園長・調理員・主任・職員にて、必要に応じて給食会議を行う。
議題は、月の献立行事食やお土産(敬老会、運動会、おゆうぎ会)、行事食（ムーチ）等。
南部保健所健康推進班の報告・・・すべての栄養素が栄養目標量を満たし、バランスの良い食事が継続的に提供されているとのこと。

9、その他衛生管理・安全管理

新型コロナ感染拡大予防対策として室内の清掃、棚、壁、窓など、消毒液で毎日2～3回ほど拭く。玄関での体温チェック、家庭での健康チェック、午睡後の健康チェックなど細かく健康状態の確認をする。又、子ども同士が、ソーシャルディスタンスを取るようにした。（午睡時や食事も含む）

行事の時は、室内で大多数の参加となるため、無秩序で蜜とならないように、クラスごとに集まって開催し、常時換気となるように、扇風機を付け、窓を開いた状態にした。

手洗いは使い捨てペーパータオルを用い、手洗い石鹸も消毒効力の高いものを使用した。

その他、衛生管理を下記に示す。

- ・室内遊具を1日1回は消毒液で拭く。
- ・コロナ感染予防対策として、職員にエプロンと消毒用を配布。
- ・園舎内外の害虫駆除
- ・日々の建物や設備の点検

子ども達が事故やケガがなく安全に遊べるように早番の保育士が毎朝点検する。

10、避難訓練の実績

4月20日	5月18日	6月14日	7月19日	8月16日	9月21日
火災時避難 訓練・消火 訓練	火災時避難 訓練・消火 訓練	・地震津波 訓練・消火 訓練	ハブ遭遇訓 練・消火 訓練	火災時避難 訓練・消火 訓練	消防署によ る総合訓練
10月25日	11月18日	12月2日	1月19日	2月22日	3月7日
不審者侵入 訓練・消火 訓練	火災時避難 訓練・消化 訓練	地震津波時 訓練・消火 訓練	火災時避難 訓練・消化 訓練	地震津波時 訓練、消火 訓練	火災時避難 訓練・消化 訓練

11、園児への保険加入

園児の不慮の事故・災害に備えて、以下の保険に加入する。

保険の種類	保険会社等
災害共済	独立行政法人日本スポーツ振興センター
保育総合保険（F）	社会福祉法人日本保育協会

12、園児交通安全指導

- ・ 園外保育は職員2人以上で行動する。
- ・ 園外に出発する時は写真を撮り、子ども達の人数確認と服の確認をする。
- ・ 信号の有無、車輛の往来が激しい場所、道路状況が悪い所など危険箇所を確認する。
- ・ 散歩計画書や園外保育計画書を前もって記入する。
- ・ 職員は、黄色いパーカーを着用する（園から配布したパーカー。目立つ色）。
- ・ 横断歩道旗を持参し運転手にアピールする。

13、園児の健康管理

定期的健康管理 各嘱託医と相談しながら、子ども達の健康を管理する。

- ・ 内科健診・・・9月25～26日、 1月19日
- ・ 歯科検診・・・7月12日、 12月20日
- ・ 検尿検査・・・5月12日、 10月20日
- ・ 毎月の身長・体重測定・・・第4木曜日
- ・ 感染症に関する事
 新型コロナ、インフルエンザ、結膜炎、下痢、など嘱託医並びに県・町保健所、
 嘱託医に相談
- ・ 乳児の睡眠チェック・・・5分間置き（0歳児）、10分置き（1歳児）、
 20分置き（2歳児）
- ・ 朝の視診と検温、保育中の視診と検温 午睡後の視診と検温

・感染症

病名	人数
新型コロナウイルス感染症 (濃厚接触者も含む)	52
インフルエンザ	23
ウイルス性胃腸炎(ノロ・ロタ)	13
流行性耳下腺炎	1
ヘルパンギーナ	1
突発性発疹	6
アデノウイルス	1

病名	人数
プール熱	2
R S ウイルス感染症	4
はやり目	1
溶連菌感染症	4
手足口病	73
ヒトニューモウイルス	5

内科健診結果

診断	人数
肥満傾向	3
多動傾向	4
ことばの遅れ	4

診断	人数
低身長	1
食物アレルギー	3
アトピー湿疹	3

14、発達支援

- ① 子ども課事業 → 障がい児巡回訪問（保護者からの申請が必要）

・発達支援児保育（職員加配2人）→対象児童4人

町事業

主な行事	回数
巡回指導	3
運営員会	5
交流会	3

主な行事	回数
講演会	1
中間報告	1
研究発表会	1

講師・・・言語聴覚士・社会福祉士、前田智子先生・小浜ゆかり先生

- ② 保健福祉課事業（公認心理士・外間和歌子）

→ まちの OT による訪問、困っていること・気になることへの理解の勉強会

対象児童

2歳児（3人）

3歳児（6人）

4歳児（2人）

共有チーム → 園長、クラス担任、子どもセンターゆいまわる職員（作業療法士）、保護者

方法 → 行動観察とフィードバック・・・保育園全体研修→共有

15、広報活動

- ・毎月の園だより、給食だより、保健だより、献立表・離乳食（前期・後期）だより、全国保健ニュース・クラス便りをICT配信。玄関にも印刷物を準備。
- ・やまがわ保育園のホームページにて園の概要、緊急のお知らせ、新着情報、運営情報、求人情報を掲載。
- ・園内における新型コロナウイルス感染状況の報告
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止法等を掲載（県・町）
- ・ハローワークへ求人情報登録
- ・職員に対して、ICTによる連絡配信（主に新型コロナ情報提供）
- ・保護者向け、ICTによる一斉配信
- ・おたより帳ICT配信、日々の保育様子を写真にてICT配信
- ・卒園児一人ひとりに対して、0歳児～4歳児まで育ちの様子（写真）をDVDに収録（贈呈）。

16、職員に関すること

- ・健康診断・・・職員は希望日を事務長に報告し、日程調整後、受診。
基礎診断項目は園負担とし1日特別休暇とする。
（オプションは自己負担）
- ・福利厚生・・・うんどう会、おゆうぎ会、卒園式、御用納め慰労会、年度末慰労会の費用を園負担。
新型コロナウイルス感染症予防対策として、エプロン（2枚）、除菌・消毒ペーパータオル等を支給。
2階会議室（兼休憩室）にてウォーターサーバを新設。
→交代制でコーヒータ임을設け、職員間の親睦を図る。

17、苦情解決状況

1件、ありました。（電話連絡）

【内容】12月7日、保護者から保育士の不適切な対応があったと、電話がある。

【詳細】園庭遊びの際、保育士が、園児に対して帽子を被る事に強い口調で強要している。

【解決】緊急職員会議を開き苦情内容を伝えたところ、不適切な保育として感じていないようであった。その理由として、外遊び時に帽子を被る事は、自分の頭を日差しから守る事、飛来物・落下物から頭を保護する事、職員が人数確認（クラスごとのカラー帽子で園児数を把握）や安全確認としての重要な役割を果たすという理解のもと、子どもたちに接していたとの事。
一方で、その子が帽子を被りたくなかった気持ちを顧みず、寄り添った言葉掛けができてなかった、あるいは、声掛けのタイミングが欠如していたのではという意見もあり、職員間で共有しました。

なお、後日園内研修にて、子どもの気持ちを尊重した「寄り添う保育」、「保護者が安心する保育」とは何かを再認識し、今後も取り組んでいくことを確認

しあいました。

→ 苦情報告は、最終的に職員の検討結果を園だよりで、報告しました。

18、事故報告

2件、ありました。

園児	事故内容・症状	対応	再発防止策
		治療内容・処方箋等	
にじ組 3歳児 男児	スカイパークにて、手のひらを蜂に刺される。	・看護師が流水で洗い病院受診。 ・病院にて、消毒と塗り薬処方。	・蜂の発生状況の確認し、蜂がいた場合はすぐ避難する。
にじ組 3歳児 男児	座って遊んでいた園児Bに、走ってきた園児Aと衝突。園児Aは唇と歯茎から出血。	・念のため病院受診。 ・痛み止めの内服。	・室内遊びでの職員の立ち位置の確認。 ・室内では走らないように指導。

19、職員育成と研修

月日	園内研修	スキル向上	キャリアアップ	発達支援	その他 (園長・厨房向け)
4月2日 (土)	・新入園児の迎えて ・コロナ感染予防対策研修			・運営委員会	
4月22日 (金)	・ICT研修 (イロドリンク使用説明会)				
4月28日 (木)	・事故防止危機マニュアル ・散歩時計画表について				
5月12日 (木)	・コロナウイルス室内消毒			・巡回指導 (保護者参加)	
5月24日 (火)	・感染予防の登園自粛について			・保護者参加座談会	
5月28日 (土)	・感染予防の全員で大掃除				

6月6日 (月)	・感染状況の確認と拡大予防の対応	・初任保育士研修 (高原、宮本2人)		・町交流会 (保護者、園児、担任)	
6月15日 (水)	・研修報告 ・初任者研修 ・環境構成	・年令に応じた遊びの環境構成 主催：県保育士会 (平良)		・運営委員会	
6月18日 (土)		・気になる子どもの特性理解と対応 (外部講師)			
6月25日 (土)	・0歳児保育指針より実践報告				
7月23日 (土)	・保育事故における原因と背景、事例(園長会からの報告)	・町主催 届けたい保育を叶えるデザイン (15人参加。外部講師)			
7月25日 (月)	・サンエスカラバン講座				
8月3日 (火)	・乳児死亡事故について (1・2歳児)				
8月20日 (土)	・保育指針より実践報告 (13人参加)				
8月27日 (土)	・車中での熱中症死亡事故について	・救命救護研修 (15人：	・食育アレルギー (細川)	・町講演会 (子どもの発達について)	

		東部消防署にて)			
9月9日 (金)	・人権擁護のためのセルフチェック (13人参加)		・食育アレルギー (新垣)	・保護者情報交換会	令和5年度保育関係予算・政策要望について
10月13日 (木)	・蜂に刺された直後の対応			・巡回指導 (保護者参加)	
10月15日 (土)		・町発達支援児保育講演会		・運営委員会	
11月26日 (土)	・実践を通して、保育指針から学んだ事(1・2歳児報告)	・ティ-チャートレニング (赤堀1人)		・わくわく親子交流会	・令和4年度島尻教育研究 ・津華山幼稚園公開保育
12月7~8日 (水~木)	・保育園に於ける不適切な保育	・ティ-チャートレニング (赤堀1人)			・HACCPセミナー ・不適切な保育防止
1月28日 (土)	・保育指針より実践報告 (3歳児担任:15人参加) ・保育指針より実践報告 (4歳児担任:15人参加)			・巡回指導 (保護者参加) ・運営委員会	・保育園を取り巻く最近の状況と働き方について 内閣府13日金
2月15日 (水)	園内・園外の大掃除、危険箇所点検			・運営委員会	・令和4年度集合研修会3人 働かせ方のルール保育 業界課題
2月22日 (水)	・振り返り(職員意向調査の結果)			・運営委員会	

	から) ・魅力ある保育 内容について				
3月25日 (土)	・次年度事業計 画検討会 ・自己評価につ いて			・研究発表会 5人 ・園長情報交 換会	
<p>補足)</p> <p>キャリアアップ研修について、2022年度は4科目の全科目を2人修了することができ、累計で6人になりました。</p> <p>3科目修了は2人。2科目修了は3人。1科目修了は2人です。</p>					